

質問

将来の公共交通の在り方は

町長

普及の動きを見て検討



たかはし 高橋 恵美子 議員

質問

島根県的美郷

町がICT活用に関して民間事業者と連携協定を結んでいる。そこで自動運転EVバスの導入が提案され令和6年に実証実験を行っている。



奥出雲交通 仁多営業所

最近では松江市も、無人の自動運転バスを市内を中心に市議会が体験乗車を行っている。

た。そうした中で運転手不足を考えたとき、将来を見据え、自動運転バス導入の町長の考えは。

骨粗鬆症予防 健診の推進

3年4月1日からレベル4の特定条件下で完全自動運転が公道でも認められるようになり、複数の自

質問

島根県は全国

でも高齢化率が高く、予防医療の体制整備が不可欠である。骨折、寝たきり、要介護という負の連鎖を断ち切るためにも、骨密度を調べることは大切になる。

本町での骨粗鬆症健診の状況と健診率は。

町長 骨粗鬆症について健診という形ではない。健康教室での骨密度測定や人間ドックなどのオプションとして希望される方に対して実施している。

女性に配慮したAEDは

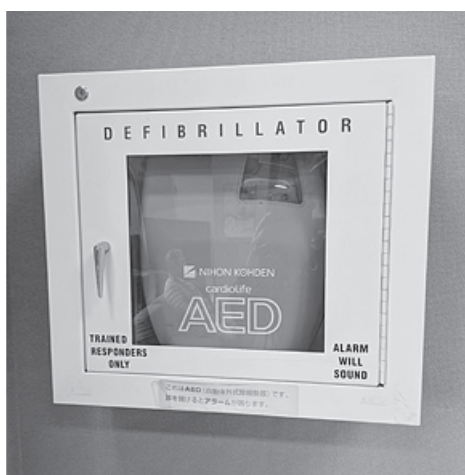
質問

女性にAED

治体で実証実験に取り組んでいる。自動運転バスの導入については、運転手不足解消の手段と

なると考えているが、安全性、技術、制度、普及の動きを見ながら検討していく。

町長 このような配慮は重要である。今後設置場所の環境整備において必要に感じ、こうした資料を検討に加えることを視野におき、入れていきたいと思う。



公共施設のAED